

生涯学習と コミュニティ

—荻川コミュニティ振興協議会—

荻川地区は、人口 12,703人、3,478世帯で、荻川コミュニティ振興協議会（通称荻川コミ協）が組織されています。その活動拠点が、荻川地区公民館で、ここには49の文化団体と、14のスポーツ団体が登録され、昼夜の別なく利用されています。

本年度は、新たに「花いっぱいにする会」も誕生して、ますます新しい地域づくりが期待されています。

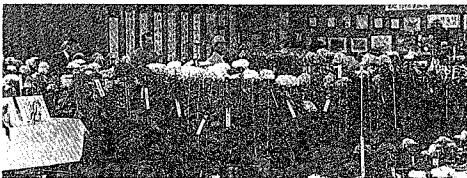
7月18日(日)には、荻川コミ協10周年記念式典と祝賀会も予定されています。（問い合わせ ☎ 24-5766）



地域に根ざした活動が基本線で、クリーン作戦も多く地区民が参加します。



14町内が参加しての大運動会は、競技に熱が入るのはもちろんですが、応援団、大人がハッスルすれば子供達も負けじと応援、町内融和には大変よいことです。



文化祭にはレベルの高い作品がよせられます。
また、文化団体が6つもあって、よい作品が生まれる土壤となっています。

●私の生涯学習

生涯学習には、定年がありません。好きなことを一途にやれておもしろいものです。最終の目標は「自分を限りなく高める」ことにあります。

一人でやっておられる方がたくさんおられます。みんなの広場に紹介したいのです。500字くらいにまとめてお知らせください。

●ユニークな事業

団体・グループなどで地区をあげて実行しようという事業を聞かせてください。取材にうかがいます。子どもから高齢者までがいっしょになった活動を希望しています。

連絡先 ☎ 22-9667 生涯学習課 生涯学習係

募集中
取材に行きます

弘安二年（一二七八年）鎌倉時代、この村の鎮守の宮再建の工事に掘った土の中からこんなと清水がわき出てきました。付け後々まで大切に守り続けました。たまたま、清水のそばに桜の木があつて、いつも、春になると、美しく咲き乱れていたので、いつの間にか「桜清水」と呼ばれるようになりました。

また、一説によると、妙蓮寺の開山、日印上人によって発見され、上人は、この清水を茶の湯に用いられたものといわれています。

は大喜び、神のお授けの水として、早速「みそぎ清水」と名付け後々まで大切に守り続けました。飲み水に不足していた村の人たちは、この清水の水と湯に向かって、よくゆきとくわき出ています。



①桜清水



面した那加武良神社境内の一部にあつて、今まで滑らかな水がわき出ています。

正面に向かつて右側の柱の上には、水質分析表があり、飲料水として利用できることが示されています。

自家用車にボリタンクを積み遠くからみくる人もいます。桜清水の周辺は、地元の人達によつて手入れがよくゆきとき、風格のある瓦屋根とともに往時をしのぶことができます。

